

支部便り

第五回 軽金属学会 東海支部女性の会 報告

The 5th women's meeting of Tokai Branch of the Japan Institute of Light Metals

上田 薫*
Kaoru UEDA*

軽金属学会東海支部における女性の会は、2011年4月5日の立ち上げ以来、女性のネットワークを作り上げ、さまざまな知識を深めることを目的に年1~2回程度の活動を行っています。今年は7月1日に、日本軽金属㈱の蒲原製造所を訪問し、アルミニウム製錬研究の第一人者の杉田様にご講演いただくとともに、所内にある水力発電所を見学しました。

当日は女性研究者12名の参加だけでなく、日本軽金属㈱のグループ技術センター 土田センター長や東海支部の支部長も参加され、いつもより少し緊張感のある女性の会となりました。杉田様には、日本ではすでに行っていない『アルミニウムの製錬』について、各種電気分解法や課題のほか、製錬の歴史やアルミニウムの原料であるボーキサイトの種類、ボーキサイトが採取される鉱山の話などを交え、非常に幅広く面白い内容のご講演でした。また、海外における最新のアルミニウム電解技術についてもご紹介がありました。アルミニウムの製錬については、電気がたくさん必要であるということはなんとなく知っているものの、実際に学ぶ機会は少なかったため、今回、その歴史も含めてとても興味深く拝聴しました。杉田様のとてもわかりやすいご講演のおかげで、活発な質疑もあり、盛況な講演会になりました。

次に、製造所内にある富士川第二水力発電所を見学しました。発電所までは、遠足のようにバスの送迎があり、水力発電所の建物の中では、自社所有の6箇所の発電所について、展示してあった古い水車（鉄製の本物です）を見ながら、水の流れ方とその威力について教えていただきました。その後、外で放水口から出てくる水の様子を見学したのですが、まず、社内最大の発電量を誇るという水の勢いに圧倒され、

次に、そのすごい水流にもかかわらず、鶴が飛び込んで魚を捕るという話を聞いて、さらに驚かされました。

夜は、杉田様をはじめ、土田センター長も交えて、懇親会を開催しました。ここでも杉田様、土田センター長を中心に会話は弾み、また、すでに顔なじみになっている女性同士の近況報告、初めて参加した女性との交流など、美味しいお料理とお酒をいただきながら、とても楽しい時をすごしました。

東海支部女性の会では、女性技術者・研究者が、元気に長く仕事が続けられるように、少しでも横のネットワークを広げてお互いに助け合えるような環境を作るとともに、男性のご理解、ご協力が得られるような活動も続けていきたいと考えています。

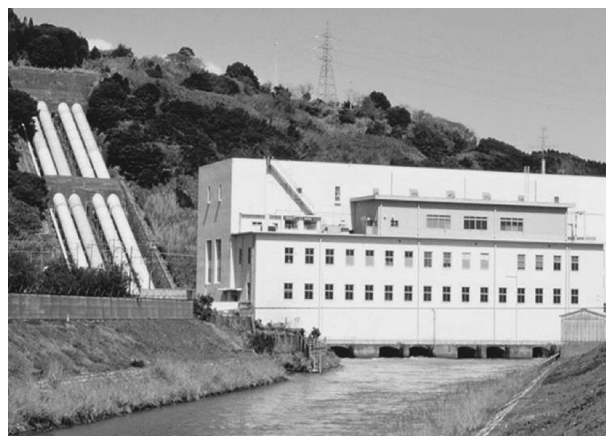


図2 壮大な富士川第二水力発電所の外観

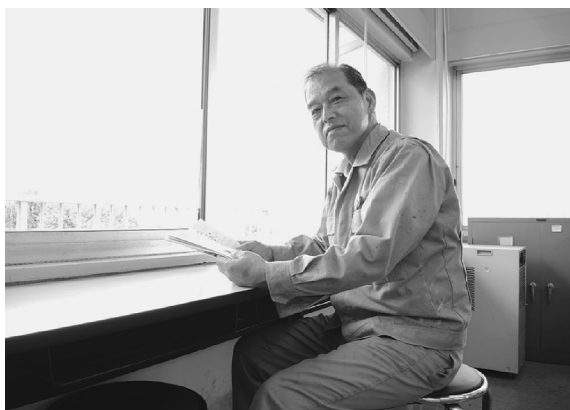


図1 ご講演いただいた後の杉田様



図3 懇親会後に記念撮影